

国際ワークショップ「科学的思考と未来パラダイム：AI時代の挑戦と可能性」

主催 大阪大学社会技術共創研究センター総合研究部門
フランクフルト大学クリティカルコンピュテーショナルスタディーズセンター(C³S)
理化学研究所革新知能統合研究センター分散型ビッグデータチーム

日時 2024年5月17日(金) 午前10時～午後3時35分

対象 招待制(現地参加のみ)

会場 京都大学楽友会館1階会議室1(予定)

使用言語 日英同時通訳

趣旨

未来は不確実で未決定なものだという発想は、近代以降、西洋思想の基本となってきました。こうした発想は、ユートピア思想や、直線的な時間観念、計算的知性などにみることができます。今や人工知能、データ科学などによるモデリングやシミュレーション技術の向上により、予測可能性は向上しつつあります。しかし、そこで描かれる未来は「アルゴリズム化された未来」に他なりません。技術予測への過度な依存は、未来は過去の再現でしかないという、いわゆる「再帰の呪い(ウロボロス)」を招いてしまう危険があります。これは知的貧困や多様性の喪失につながりかねません。プログラム化された「アルゴリズム的知性」により予測可能性が拡大する一方で、逆に不確実な未来と対峙することはますます困難になりつつあります。

このような状況を前にして、科学的思考やイノベーションについて改めて議論しておくことが重要です。人間や社会、その時間観念や未来ビジョンは、技術革新とともにどのように変化しつつあるのでしょうか。日独連携による本ワークショップでは、哲学、法学、情報科学、データサイエンス、教育科学、精神医学などの分野から研究者が集い、学際的な議論を展開します。

プログラム

2024年5月17日（金）

10:00～10:05 開会の辞・報告

福田雅樹（大阪大学社会技術共創研究センター総合研究部門長・教授
〔大学院法学研究科教授兼任〕、理化学研究所革新知能統合
研究センター客員主管研究員）
「未来への備えとしての ELSI 研究」

10:05～10:25 基調報告

クリストフ・ブルクハルト（フランクフルト大学 C³S）
ユリアネ・エンゲル（フランクフルト大学 C³S）
「計算知性がもたらす未来？惑星的観点からの批判！」

10:25～10:45 基調報告

鈴木晶子（京都大学名誉教授、理化学研究所革新知能統合研究センター
客員主管研究員、大阪大学社会技術共創研究センター総合研
究部門招へい教授）
「デジタル化時代のヒューマン・トランスフォーメーション（HX）
—文化を意識したアプローチの可能性」

10:45～11:35 セッション1「未来の展望」

10:45～11:05 報告

ウルリヒ・マイヤー（フランクフルト大学 C³S）
「大規模確率ネットワークのためのモデルとアルゴリズム：未来に備える」

11:05～11:25 報告

池田裕一（京都大学大学院総合生存学館教授）
“AI augmented human survivability studies (tentative)”

11:25～11:35 質疑応答

11:35～12:25 セッション2「身心の未来」

11:35～11:55 報告

フランシスカ・マテウス（フランクフルト大学 C³S）
「複雑系の仮想表現—ライフサイエンスとデジタル未来におけるモデラ
ーの視点」

11:55～12:15 報告

藤原広臨（京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座精神医学教室
准教授、理化学研究所革新知能統合研究センター客員研究員、
大阪大学社会技術共創研究センター総合研究部門招へい准教
授）
「IoT 使用の健康害とベネフィットの可能性について」

12:15～12:25 質疑応答

12:25～13:25 休憩

13:25～14:15 セッション3 「教育の未来」

13:25～13:45 報告

飯吉透 (京都大学 学術情報メディアセンター/大学院教育学研究科教授)

「予測不能を予測する：AIによって可能/無能になる教育の未来」

13:45～14:05 報告

サスキア・テルステゲン (フランクフルト大学)

「惑星的になること—教育におけるパワフルなナラティブと非線形的な時間観念」

14:05～14:15 質疑応答

14:15～15:05 セッション4 「法の未来」

14:15～14:35 報告

フィン・ラウリッツ・シュミット (フランクフルト大学)

「刑法における未来の概念—刑事政策の原動力としての未来像」

14:35～14:55 報告

日原拓哉 (大阪大学社会技術共創研究センター総合研究部門特任助教 (常勤))

「生成AIと刑法 (仮)」

14:55～15:15 赤坂亮太 (大阪大学社会技術共創研究センター総合研究部門准教授)

「感覚データの流通と法的保護」

15:15～15:30 質疑応答

15:30～15:35 総括・閉会の辞

鈴木晶子 (京都大学名誉教授、理化学研究所革新知能統合研究センター客員主管研究員、大阪大学社会技術共創研究センター総合研究部門招へい教授)

=====

【ワークショップ終了後 (非公開)】

15:45～17:00 今後の連携の可能性等に関する意見交換を含む自由討議 (日英同時通訳あり)